

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

2009年1月20日発行 第69号 (毎月1回発行)

教務からのお知らせ	P4 ~ P8
事務室からのお知らせ	P9
保健室・カウンセリングスペースからのお知らせ	P10
生徒支援からのお知らせ	P11
進路支援からのお知らせ	P12
今月の聖句	P13

YMCA学院高等学校

TEL 06(6779)5690 FAX 06(6779)1831 <http://www.ymcagakuin.ac.jp>

「学校通信」はバックナンバーを含め、本校のホームページでも閲覧できます。

今月のメッセージ



「帰って家族を大切にしてください」

今年の正月はどのように過ごされましたか。家族と一緒に紅白歌合戦を見たり、友達と一緒にカウントダウンコンサートに行ったり、家族や友人と正月旅行に行ったりして、のんびり楽しく過ごすことができたでしょうか。また、アルバイトを頑張っていた人もいたかもしれませんね。

「帰って家族を大切にしてください」という言葉は、マザーテレサがノーベル平和賞受賞の際、インタビューで「世界平和のために私達はどんな事をしたらいいですか」と問われて答えた言葉です。

日頃は、支えあっている家族や友人の存在の大切さを忘れがちですが、1年中でこの時期は、久しぶりに祖父・祖母の家に遊びに行ったりして、家族や親類の方々とのおふれあいの機会が多くあるのではないのでしょうか。また、遠くの学校に行っている友人が久しぶりに帰省してきて、楽しいひと時を過ごすこともできるでしょう。

マザーテレサの言葉にあるように、身近にいる家族・友人や遠くにいる家族・友人を「大切にしてください」、そのことにより、自分自身の心の中にも安らぎを与えられ、これからはじまる1年が平和で安らぎに満ちた1年になるでしょう。

本校の卒業要件

高校に3年以上在学すること。

74単位以上修得すること。

必要な教科・科目(必須科目)を履修すること。

「総合的な学習の時間」を3単位以上修得すること。

特別活動に30時間以上参加すること。

(「2008年度学務の手引き」より抜粋)

2008年度 大阪YMCA 年間聖句

「めいめい自分のことだけでなく、
他人のことにも注意を払いなさい。」

フリビの信徒への手紙 2章4節



2008年6月-2009年5月

スケジュール

予定日程表

日	曜	行事予定など
		1 月
1/22	木	1月集中講座レポート提出最終締切日(17時必着)
1/23	金	CT ガイダンス
1/24	土	〔後期学習状況報告〕〔単位認定テスト受験資格確認表〕〔筆記式テスト時間割・出題範囲一覧〕〔レポート解答例集〕発送予定 特別活動「街美化ボランティア」
1/27	火	単位認定テスト(課題式テスト)発送予定
1/28	水	「総合的な学習の時間B」
1/29	木	「総合的な学習の時間B」
1/30	金	「総合的な学習の時間B」
		2 月
2/1	日	
2	月	「総合的な学習の時間B」
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	単位認定テスト(筆記式テスト)
10	火	
11	水	(建国記念の日)
12	木	単位認定テスト(筆記式テスト)
13	金	単位認定テスト(筆記式テスト)
14	土	
15	日	
16	月	単位認定テスト(筆記式テスト) 課題式テスト提出締切日(消印有効)
17	火	筆記式テストの追テスト
18	水	(筆記式テストの追テスト)
19	木	〔学校通信〕発送予定
20	金	〔筆記式テスト答案〕〔筆記式テストの再テスト・再テスト代替課題の案内〕 発送予定
21	土	特別活動「街美化ボランティア」(予定)
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	筆記式テストの再テスト日および再テスト代替課題提出締切日(15時必着)
26	木	
27	金	
28	土	1年次・2年次対象「保護者とともに進路を考える会」
		3 月
3/13	金	08年度後期卒業式
3/16	月	ホームルーム・09年度前期講座説明会
3/18	水	09年度前期講座登録開始(予定)

教務からのお知らせ

【「後期学習状況報告」などの発送】 1月24日(土)

後期最終の〔学習状況報告〕を1月24日(土)に発送します。あわせて、〔単位認定テスト受験資格確認表〕〔単位認定テストの実施方法および筆記式テスト出題範囲・内容一覧と日程・時間割〕〔レポート解答・記述例集〕〔特別活動参加時間数〕などが同封されますので、これらをもとに、単位認定テストに備えましょう。

(1月実施の集中講座については、2月初めに改めてお送りいたします)

【単位認定テストについて】

単位認定テストは、すべての講座で実施します。(「総合的な学習の時間」を除く) 単位認定テストには、筆記式テスト、課題式テスト、実技式テストの3つの実施方法があります。

各講座のテストが、どの実施方法でなされるか、よく確認して、間違いのないようテストを受けてください。

(各講座のテスト実施方法は、今回掲載している「単位認定テストの実施方法および筆記式テスト出題範囲・内容一覧」でご確認ください)

テスト実施方法

単位認定テストには、筆記式テスト、課題式テスト、実技式テストの3つの方法があります。各講座は、この3つの方法のいずれかで、単位認定テストを実施します。(「総合的な学習の時間」を除く)

「筆記式テスト」について

筆記式テストは、2月9日(月)・12日(木)・13日(金)・16日(月)の4日間、実施します。「学務の手引き」に記載の日程を変更していますのでご注意ください。

今からスケジュールを調整しておいてください。

なお、筆記式テストは、スクーリングの曜日・時限とは異なる曜日・時限で実施しますので、十分注意してください。

筆記式テストの時間割は1/24(土)に発送します。

また、今回「筆記式テストの出題範囲・内容一覧」を載せていますので、テストの準備を進めてください。

受験できる講座については、1/24(土)に発送する〔単位認定テスト受験資格確認表〕で確認の上、受験してください。

<筆記式テストが同じ日時で重なっている場合>

受験できる講座の筆記式テストが、〔筆記式テスト日程・時間割〕で同じ日時に表示されている場合は、〔単位認定テスト受験資格確認表〕で、一方を他の時限で受験するように指示されます。筆記式テストは、1/24(土)に発送する〔受験資格確認表〕に記載されている日付・時限・教室にしたがって受験してください。

<追テストを希望する場合>

指定の日時に筆記式テストを受けることができない場合は、事前の届出により、2月17日(火)に追テストとして受験できます。(5講座を超える場合は翌日にも実施)

届出に際しては、事情・理由は問いません(病院の診断書などは不要)が、追テスト料が1講座につき1,000円必要です。

事前に「追テスト願」に必要事項を記入し、料金を添えて教員室受付に提出してください。ただし、インフルエンザのように出席停止が求められる病気や大学受験など、学校が相当の理由があると認める場合は、診断書・証明書の提出や受験票の呈示などにより料金免除となります。

また、遅刻などで受験できなかったテストは、その時間以降に追テストとして受験できますので、手続きの上、受験してください。

なお、いったん納入された追テスト料は、理由に関わらずお返しできませんので、あらかじめご了承ください。

<再テストが必要になった場合>

筆記式テスト(追テストを含む)が不合格となった講座は、再テスト[2月25日(水)に実施]を受験(講座によっては再テストの代わりに課題提出)できます。

再テスト受験または再テスト代替課題提出については、再テスト料・再テスト代替課題料が1講座につき1,000円必要です。

再テストに関する手続きなど詳しいことは、筆記式テスト結果の送付時(2/20(金)に送付予定)に、該当者にお知らせします。

いったん納入された再テスト・課題料についても、理由に関わらずお返しできませんので、あらかじめご了承ください。

「課題式テスト」について

課題式テスト実施講座の履修が認められた人(スクーリングとレポートの条件をクリアした人)に、該当講座の課題式テストを1月27日(火)に発送します。

みなさんは、自宅で課題式テストに取り組み、締切までに提出してください。

締切までに提出されなかった場合は、単位の修得はできません。

課題式テストの提出締切は、2月16日(月)17時(2/16の消印有効)です。

提出方法など、詳細については、課題式テスト送付時にお知らせします。

なお、課題式テストには、追テスト、再テストはありません。

提出された課題式テストが合格点に達しない場合は単位の修得はできません。

「実技式テスト」について

スクーリング期間中に、実施終了しています。

講 座	実施方法	範 囲 または 内 容	筆記用具以外で テストに必要なもの (注)	備 考
国語表現 I	筆記式	レポートの漢字、豆知識・敬語・慣用句・接続詞などの問題応用 コラム・小論文を読んで自分の考え、意見を表現 (400 字程度)		
国語総合 a	筆記式	レポート①③④⑤⑥		
国語総合 b	筆記式	レポート①～⑥		
現代文 b	筆記式	レポート①～⑥およびその範囲の教科書		
古典 b	筆記式	レポート①～⑥		
古文入門	課題式			
国語演習 b	筆記式	レポート①～⑨から		
世界史 A	筆記式	レポート①～⑥		
世界史 B ㊦	筆記式	レポート①～⑥		
日本史 A	筆記式	レポート①～⑥		
日本史 B ㊦	筆記式	レポート①～⑥		
地理 A	筆記式	レポート①～⑥		
現代社会	筆記式	レポート①～⑥ 解答例※印要注意 ニュースについて自分の意見を書く		
倫理	筆記式	レポート①～⑥		
政治・経済	筆記式	レポート①～⑥ 解答例※印要注意 政治経済のニュースについて自分の意見を書く		
公民演習 a	筆記式	レポート①～⑥ ニュースについて自分の意見・見解を書く		
数学基礎	筆記式	レポート①～⑥		
数学 I α ㊥	筆記式	レポート①～⑥		
数学 I α ㊦	筆記式	レポート①～⑥		
数学 I β ㊥	筆記式	レポート①～⑥		
数学 I β ㊦	筆記式	レポート①～⑥		
数学 II b	筆記式	レポート①～⑥		
数学 A	筆記式	レポート①～⑥		
数学 B	筆記式	レポート①～⑥		
数学演習 a	筆記式	レポート①～⑨		
数学演習 b	筆記式	レポート①～⑨		
理科基礎	筆記式	教科書 全部	教科書のみ	
理科総合 A	筆記式	教科書 全部	教科書のみ	
理科総合 B	筆記式	教科書 2 章・3 章	教科書のみ	
物理 I	筆記式	教科書 全部	教科書のみ	
生物 I	筆記式	教科書 全部	教科書のみ	
体育 a, b, c, e, f	実技式			
保健	筆記式	レポート①～⑥、教科書図		
美術 I	課題式			
美術 II	課題式			
書道 I	課題式			
ペン習字	課題式			
暮らしに役立つ書	課題式			
オラル・コミュニケーション I	筆記式	レポート①～⑥ [1 人約 5 分間の面接テストを実施]		
英語 I α ㊥	筆記式	教科書 Lesson 1, 2, 4, 5、レポート①②④⑥の内容	教科書のみ	
英語 I α ㊦	筆記式	教科書 Lesson 6～10	教科書、 レポート①～⑥	
英語 I β	筆記式	教科書 Lesson 3, 7, 9		
英語 II α ㊥	筆記式	教科書 Lesson 2, 3, 4, 5、レポート②③④⑤の内容		
英語 II α ㊦	筆記式	教科書 Lesson 8, 9, 10, 11、レポート②③④⑤の内容		
英語 II β ㊥	筆記式	教科書 Lesson 1, 2, 3		
英語 II β ㊦	筆記式	教科書 Lesson 7, 9, 10		
リーディング	筆記式	Power On [Part1:Focus 4, 6, 8 Part2:Lesson 2, 4] レポート①～⑨	英和辞典のみ (電子辞書は不可)	

講 座	実施方法	範 囲 または 内 容	筆記用具以外で テストに必要なもの (注)	備 考
ライティング	筆記式	レポート①～⑧	英和辞典、和英辞典	
英語基礎Ⅰ	筆記式	レポート①～⑥		
英語基礎Ⅱ	筆記式	教科書 Lesson 1, 2, 4, 6、レポート①②④⑥の内容		
英語演習b	筆記式	教科書 Lesson 5, 6, 7, 11		
韓国・朝鮮語入門	筆記式	教科書 第1課～第14課、レポート①～⑨	教科書のみ	
中国語入門	筆記式	教科書 第1課～第5課、レポート①～⑨	教科書のみ	
家庭基礎	筆記式	レポート6回分とスクーリングの内容から		
家庭総合a	筆記式	レポート6回分とスクーリングの内容から		
家庭総合b	筆記式	レポート6回分とスクーリングの内容から		
服飾手芸	実技式			
調理	筆記式	レポート①～⑦と資料から		
情報A基礎	課題式			
情報A応用	課題式			
体感する判事教	課題式			
はじめて知る判事教	課題式			
聖書に親しむ	課題式			
産社と人間	課題式			
産業社会と人間B	課題式			
社会福祉入門	筆記式	レポートを中心に、教科書の内容	教科書、添削済みレポート	
福祉実習基礎	課題式			
発達と保育	筆記式	レポート6回分とスクーリングのプリントから		
高齢者福祉実習	☆			☆実習で代替
高齢者福祉	筆記式	レポートを中心に、教科書の内容	教科書	
ワークショップで学ぶ人権	課題式			
ジェンダー入門	課題式			
私のアイデンティティ	課題式			
地域スタディ	課題式			
からだづくり運動	実技式			
ウィンタースポーツ	実技式			
レクリエーション	実技式			
ヨーガ	課題式			
農業体験	課題式			
文書作成	課題式			
表計算Ⅰ	課題式			
表計算Ⅱ	課題式			
コンピュータ概論	筆記式	教科書、レポート①～⑤および授業中の配布資料		
インターネット	課題式			
ホームページ作成	課題式			
情報演習b	課題式			
映画で学ぶ世界史	筆記式	レポート6回分から		
ホースライティング	実技式			
フィッシング	実技式			
星空への招待	課題式			
服飾文化	筆記式	レポート6回分とスクーリングの内容から		

[注] *筆記式テストは、2月9日(月)・12日(木)・13日(金)・16日(月)に実施します。(時間割は1/24に送付)

筆記式テスト受験には、受験資格確認表、生徒証および筆記用具(鉛筆・消しゴム等)が必要です。

*課題式テストは、1月27日(火)に学校から送付しますので、自宅で行ってください。

課題式テストの提出期限は、2月16日(月)17時です。(郵送の場合は、2月16日の消印有効)

*実技式テストは、スクーリング期間中に終了しています。

*「課題研究」は、最終レポート(作品)が、テストの代わりになります。

*「総合的な学習の時間」は、単位認定テストはありません。

【「総合的な学習の時間 B」登録者へ】

1月28日(水)~2月2日(月)に実施する「総合的な学習の時間 B」については、講座登録者の希望にもとづくテーマ決定の通知(参加要項付き)と事前レポートを、すでに別便でお送りしています。

7
事前レポートを作成し(当日持参のこと)、それぞれのテーマで定められた日時に、間違いなく、遅れず出席してください。

まだ希望のコースを提出していない人は至急提出してください。

【2009年3月卒業予定者へ】

高校の卒業要件には、必修科目の履修、74単位以上の修得および30時間以上の特別活動参加などがあります。これらの1つでも欠けると、すでに就職内定や大学合格していても卒業は認められません。

この3月卒業予定者で、万一、必修科目の履修、74単位以上の修得という卒業要件達成に必要な講座が履修不認定となった場合は、「卒業予定の意思確認書」を提出済みの人に限り、その講座や単位数により、『卒業認定の特例』(「学務の手引き」P.12参照)を適用できる場合があります。該当者にご連絡します。

また、特別活動の参加時間数が不足の人は、2月27日(金)までに必ず充足させてください(前号及び今回同封の「特別活動のお知らせ」参照)。

【2008年度後期卒業式】 3月13日(金)

卒業式は、大阪YMCA会館(大阪市西区土佐堀1-5-6)で行います。

卒業決定者には、後日、詳しいお知らせをお送りします。

(式場の広さの都合上、本校ではありませんのでお間違えないように願います。)

街美化ボランティア

1月 24日(土)

2月 21日(土)

} 16:00 から約1時間(雨天決行)

作業のできる軽装で、10分前に1階ロビーに集まってください。その際、警察への届け用紙と学校の参加カードの両方に記名してもらいます。

(特別活動1時間。遅刻や途中で帰ったときは認定されません。)

事務室からのお知らせ

【新年度事務手続きについて】

新年度を迎えるにあたって、次年度も在籍予定の場合、今後「2009年度 施設設備費」の納入と生徒証明書用写真の提出が必要となります。「2009年度 施設設備費納入のご案内」と「2009年度生徒証明書」用に必要な写真の提出用紙を2月中旬に送付いたしますのでご予定いただき、必ずお手続きください。(次年度「休学」する場合も前述の手続きが必要です。)

2009年度施設設備費(40,000円)の納入について

納入期限は3月17日(火)の予定です。納入手続きがない場合、2009年度前期の講座登録ができません。また、在学の意思がないとみなし場合によっては退学になることがあります。なお、施設設備費の延納手続きはできませんのでご注意ください。

「2009年度生徒証明書」について

2009年度生徒証明書用の写真の提出が必要です。「2009年度施設設備費」納入の案内とともに提出用紙を送付いたしますのであらかじめ写真を用意しておいてください。(証明用・背景なし・タテ3,5cm×ヨコ2,5cm・1枚)

【住所等変更手続きについて】

現在学校に届けている住所や電話番号などが変更になった場合は、速やかに「各種変更届」に記入・押印のうえ事務室へ提出してください。あわせて生徒証明書の再発行が必要な場合は、写真を提出してください。(即日発行はできません。)

届出用紙は事務室にある他、「学務の手引き」の巻末にもあります。コピーして使用してください。

【後期学費納入期限について】

後期学費について、分割納入及び1月延納の手続きをされている場合は、今月の納入期限が1月26日(月)となっています。学校より送付しました「延納・分割納入についてのお知らせ」を確認のうえ、期日までにお手続きください。なお、上記日程が後期学費の最終納入期限日です。学費未納の場合は、単位認定テストを受けることができません。期日までに必ず納入手続きをしてください。

保健室・カウンセリングスペースからの お知らせ



* インフルエンザの予防法

- ・日頃から十分な栄養と休養をとる。(睡眠不足は大敵！)
- ・流行期間中はできるだけ人込みに行くのを避ける。
- ・室内の乾燥に気をつけ、適度な湿度を保つ。
- ・風邪の症状ができれば早めに医療機関に受診する。
- ・外出時はマスクを着用、帰ったら手洗いとうがいを。



インフルエンザワクチンの接種については、重症化防止の観点から有効な手段です。ただし接種の効果は個人差があり、また抗体の獲得までには1ヵ月程度の期間を要すること、きわめてまれに副反応の可能性もあることなどの問題もあります。ワクチン接種の際は事前に医療機関に問い合わせ、医師と十分な相談をすることが必要です。

* インフルエンザにかかったら

- ・安静にして、休養をとる。(休養をとることは、自分の体を守るだけでなく、他の人にうつさないという意味でも重要です。)
- ・部屋の湿度を保つ。(インフルエンザウイルスは湿気に弱い。)
- ・水分を十分に補給する。(お茶・ジュース・スープ・お味噌汁など。)
- ・風邪だと軽く考えず、早めに医療機関で受診して治療をうける。

* 健康診断書について

05年度以降の入学生で入学時に健康診断書の用紙をお渡しした人(A4・白：新入生、編入生のみ) 現在までに「未提出」・「未検査項目有り」の連絡した人(転入生を含む)は、出来るだけ早く医療機関で健康診断を受けて提出してください。健康診断の記録が無い場合は、学校側として健康状態の把握ができない為、在学中の宿泊をとまなうスクーリングへの参加はできません。

【カウンセリングスペース】

保健室・カウンセリングスペース、及び事務机周辺での食事はご遠慮ください。

* 後期の開室期間は終了しました。2009年度に関しては、4月以降に連絡いたします。

* 保護者の方もご利用できます。

カウンセリングスペースについてのお問い合わせ、ご予約は保健室(後藤)まで。

生徒支援からのお知らせ



先月号でもお知らせしたとおり、スクーリング終了後から新年度がスタートするまでは自習室・スポーツヤードを含めた学校施設の利用はできないので、特別な用事がない限り、生徒のみなさんは登校しないでください。もちろん、単位認定テストや集中講座（総合的な学習の時間など）は該当する日に登校するのを忘れないようにしましょう。登校日などは学校通信の予定表をよく見ておいてください。

また、進路相談など相談がある場合は担任に連絡をとってから登校してください。
（平日10:30～16:00の範囲で受け付けます）

また、証明書発行などで事務室に用事がある人は、事務取り扱い可能な日時に注意してください。

スクーリングの日程がほぼ終了し、レポートの提出も終わって単位認定テストを除けば一番ほっとする時期だと思いますが、別の意味でこの時期は重要な意味をもっていると思われれます。それは今後の進路を考えたり、来年度以降の高校生活をどう送ろうかと思案をめぐらす時期でもあります。リラックスすることも大切ですが、新年度に向けて今後の自分のことをもう一度考えてみてはどうでしょうか。

休暇期間中であっても、登校するときは学校の規則を守ってもらう必要があります。ちょっとぐらいはいいだろうとルーズにならないよう気をつけてください。

注 意

「学務の手引き」にある「校内生活上の決まり」が守られない場合は以下の順に沿って、保護者同伴の上での厳重注意やより強い処分を行います。

何らかのかたちですでに注意を受けている人は特に注意してください

現場注意

保護者・本人呼び出し

始末書

退学処分

進路支援からのお知らせ

【保護者とともに進路を考える会】

大学入試センター試験も終了し、まもなく私立大学の一般入試が始まります。2008年度入試も大詰めとなりました。これから受験をむかえる皆さんは、健康に留意し、最後まであきらめずにがんばってください。

また、在校生は新しい年度への備えをする時期となりました。特に2年次生にとっては高校卒業後の進路について、本格的に考えなければなりません。そこで、YMCA学院高等学校では、1、2年次生の保護者を対象に『保護者とともに進路を考える会』をおこないます。是非ご予約に入れておいてください。詳細につきましては、後日お送りいたしますのでご確認ください。

日 程：2月28日(土)

時 間：2年次生 10:00～12:00頃

1年次生 14:00～16:00頃

場 所：309教室(人数により変更する場合があります)

【進学コース開設について】

2009年度より開設する「進学コース」の詳細については、2月にご案内いたします。



今月の聖句



『イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ誰も父のもとに行くことができない。」』

(ヨハネによる福音書 14章6節)

主イエス・キリストは神を父と呼ばれました。主イエスを受け入れ、信じて従う者はイエスさまを通じてイエスさまと同じように神を父と呼び、神はわたしたちを「子よ」と呼んでくださる関係になります。このような父・子の関係を完全にすることが救いであり、人生の終局の目的であるとイエスさまは教えられました。人間が営むあらゆる分野でこの教えが基本にあるなら、すべては健全になります。愛と平和の世界が開けます。



(日本キリスト教団 中谷 哲造牧師より)

南YMCA「キリスト教」委員会2008

C A R I N G
R E S P E C T **Y M** **H O N E S T Y**
C A
R E S P O N S I B I L I T Y